

23-12-06

日本ボーイスカウト静岡県連盟

90周年県キャンポリー あさぎり
【 県最大の野営大会 】

基本実施要領（稿本）

県連HPに
正式HP up 予定

記念章マーク

静岡県富士宮市麓 156 ふもとつばら
平成24年8月11日(土)～14日(火)

日本ボーイスカウト静岡県連盟

目 次

第1章	開設の趣旨	1
第2章	名 称	1
第3章	テーマ	1
第4章	会 期	1
第5章	会場の地理的条件	1
第6章	参加者・参加資格	2
第7章	参加に要する経費	3
第8章	参加申し込み	4
第9章	組織と運営	4
第10章	大会の活動と日程	5
第11章	参加章と大会見学章	6
第12章	服装及び携行品	6
第13章	大会本部が準備する設備及び賃与品	6
第14章	配給	6
第15章	救護衛生	7
第16章	安全管理	7
第17章	輸送	7
第18章	入場・退場	7
第19章	参加者の来訪	8
第20章	規制事項	8
付表一1	大会 標準日程表	9
付表一2	大会本部組織図	10
付表一3	野営区組織図	11
付表一4	会場周辺図	12

第1章 開設の趣旨

日本ボーイスカウト静岡県連盟は、大正10年11月4日(1921)に少年団静岡県連盟として発足して以来、平成23年(2011)で90年を迎えることから、静岡県連盟ではこの創立90年を祝うとともに、スカウト・指導者がスカウティングの原点を再確認し、隊・団の発展充実を図り、県連盟のスローガン「地域社会に根ざすスカウト運動の推進」をより発展させるため「90周年県キャンポリー あさぎり」を実施する。

・活動のねらい

90周年事業の趣旨を重視し、スカウティングの原点である隊及び団の活動の推進を図ることをねらいとする。

・教育的効果

キャンポリーを開催することで、組織が活性化されスカウトに良いプログラム(感動)の提供ができるとともに、少人数の隊が多い現状の中BS部門の活動が、一同に同一場所でキャンプすることで、スカウトの仲間意識を高める効果が期待できる。

第2章 名 称

『 90周年県キャンポリー あさぎり 』

第3章 テーマ

『 草原の輝き 』

草原は、大自然で活動するスカウト教育を表し、輝きは、輝くスカウトを表す

第4章 会 期

「90周年県キャンポリー あさぎり」は、平成24年8月11日(土)の開会式に始まり8月13日(月)の閉会式をもって終了する。
会場は、8月10日(金)午前に開場し、8月14日(火)午後に閉場する。
但し、参加者は、8月10日午後1時より入場できる。

第5章 会場の地理的条件

1、会場

静岡県富士宮市麓156、「ふもとつばら」
北緯35度40分40秒・東経139度46分12秒周辺 海拔約830m

2、地勢・面積

富士山のすそ野、朝霧高原に位置した「ふもとつばら」が会場
「ふもとつばら」は、旧東京の農業大学富士農場で富士山を眺め、豊富な自然を感じることができる環境である。

3、気候

富士宮市の8月の気候は、平均気温26, 1度(最低気温22, 9度、最高気温30, 8度)また降水量303, 2mmである。

朝霧高原に位置した「ふもとつばら」は平地に比べ気温が低い、特に朝夕は冷え込み、真夏での宿泊には上着を1枚以上、余分に必要になる。又年間雨量が多く、雨の日が多く、雨具は必要となる。

第6章 参加者・参加資格

大会の参加者及び参加資格は、次のとおりとする。

1、参加条件

- ・加盟員は、団申込みで、地区で取りまとめて参加する。
- ・一般参加は、各団による広告募集にて、地区で取りまとめて参加する。
- ・オープン参加は、広告募集による家族での一般参加

- ・加盟員(ボーイ部門・ベンチャー部門)
3泊4日の野営(前泊可能)生活で、団申込みによる各隊での参加とする。
但し、ボーイスカウト隊で、1個班のところは、近隣の隊で協力しあい1個隊として参加できる。

- ・加盟員(カブ部門)
カブ・ビーバーデイの参加と、キャンプが出来るが、条件は、日連発行の「カブのキャンプ」を基本とする。
但し、緊急避難場所の制限により、宿泊は、400名とする。参加について400名を超える時は、実行委員会(大会本部)で調整する。

- ・加盟員(ビーバー部門)
カブ・ビーバーデイの参加です。宿泊は出来ません。

- ・加盟員(ローバー部門)
参加による団の支援協力

- ・オープン参加
家族等での一般参加です、事前申込みによる参加

2、参加資格

- ・参加スカウト及び指導者は、会期中のキャンプ生活に耐えうる健康とキャンプ技能を有する者から、団委員長が責任を持って選抜する。
【カブ部門は、「カブのキャンプ」P26カブのキャンプ・基本条件を有するP27ウイークエンドキャンプ(1～2日)が望ましいと考える】

- ・オープン参加者は、安全と健康は自己責任で対応して頂く及び野営生活に必要な物は、各自が準備する。

第7章 参加に要する経費

1、参加費

参加スカウト(VS, BS) 3,500円 記念章着用者入場料200円減額
参加指導者 3,500円 記念章着用者入場料200円減額
※参加費には、会場使用料、施設設備費、安全対策費、全体プログラム費等を含む。食費、
有料のプログラム費は別途

本部指導者 3,500円 記念章着用者入場料200円減額
食事希望者 3,500円に3,000円追加する

カブのキャンプ(CS)

スカウト・指導者 1泊2日 1,500円 共に、
2泊3日 2,500円 記念章着用者入場料200円減額
3泊4日 3,500円 カブ・ビーバーディー参加費含む

※参加費には、会場使用料、施設設備費、安全対策費、全体プログラム費等を含む。食費、
有料のプログラム費は別途

※一泊1,000円＋共通管理費500円

オープン参加者 1泊2日 1,500円 カブ・ビーバーディー参加費含む
2泊3日 2,500円 カブ・ビーバーディー参加費含む
3泊4日 3,500円 カブ・ビーバーディー参加費含む

※参加費には、会場使用料、施設設備費、安全対策費、全体プログラム費等を含む。食費、
有料のプログラム費は別途

※一泊1,000円＋共通管理費500円

※但し、傷害保険は、参加する団体または個人で別途加入のこと。

※幼児は含まない(小学生から参加費必要である。)

カブ・ビーバーディー

入場料 スカウト・指導者 200円/日 但し、記念章着用者は免除
オープン参加者 200円/日

プログラム参加費

スカウト・指導者 200円/日
オープン参加者 200円/日

参加者のネッカチーフは、原隊の物を基本とする。帽子については、各隊に一任する。
但し、実行委員会(記念品部)で、企画しておりますので後日必要な人は購入下さい。

2、予納金

行わない。

3、参加費の納入

①参加者は参加確定申込書を添えて、各地区を通じて県連盟に納入する。

②参加確定申込時に納入する参加費は、他の参加者に振り返ることは、できる
が、県連盟に納入した参加費の払い戻しはしない。

第8章 参加の申し込み

1、参加申し込み

- (1)参加者は、所定の参加予定申込書に必要事項を記入して、各地区が指定する期日までに各地区に提出する。
- (2)各地区は、地区内の参加予定人員その他について次の項目別に整理し平成24年3月30日までに参加予定申込書を県連盟事務局に提出する。
 - ① 参加隊 参加予定名簿
 - ② 本部奉仕員 参加予定名簿
 - ③ オープン参加者 参加予定名簿※但しオープン参加者は、ポスター等を作製して、PRし適宜に募集する。

2、参加確定申し込み

- (1)参加者は、所定の参加確定申込書に必要事項を記入し、参加費を添えて、各地区が指示する期日までに提出する。
- (2)各地区は、参加確定申込書及び参加費を取りまとめ、平成24年6月15日までに県連盟事務局に提出する。
- (3)県連盟事務局は、確定申込書を受領後、参加隊及び各要員に、参加承認証IDカード等必要な物を、地区を通して送付する。

第9章 組織と野営

1、運営組織

大会は、大会本部(野営本部)、野営区と参加隊で組織し、野営本部 ⇒ 野営区 ⇒ 参加隊 の系統により運営する。

2、大会本部の編成

(1)大会本部は付表一2の組織をもって構成し、それぞれの分野、役割に応じて活動する。細部については、「90周年県キャンポリー あさざり大会本部の組織と業務」に定める。

(2)大会本部は、大会の効率的な運営を図るため、次の奉仕者により構成する。

①大会本部要員 ②関係官庁、団体の役職員 ③専門技術者

(3)大会本部は、運営の一部を野営区に委任する。

(4)連絡

①大会本部から各野営区に対する連絡は、定時または必要に応じて行う。

②緊急を要する連絡は、迅速な手段をもって関係部所間で行う。

3、野営区の構成

(1)7個の野営区を設置して、大会の諸活動を展開する。

(2)野営区は、付表一3の組織をもって構成し、大会の運営と活動の単位とする。

各野営区は野営本部の指示に基づき活動する。

- (3) 1個の野営区の構成人員
各野営区の構成人員は、各地区の実情により運営する。

4、野営区の構成と任務

(1) 野営区の任務

- ① 野営区内の生活管理
 - ② 参加隊との連絡調整(隊長会議の主催と要望の反映)
 - ③ 全体行事への協力
 - ④ その他大会の運営に必要な事項
- ※詳細については「90周年県キャンポリー あさぎり 野営区の組織と業務」に定める。

- (2) 野営区要員は、野営区内でキャンプ生活する。

5、参加隊の編成

- (1) 参加隊は、各団の隊を基本とする。但し近隣の隊と調整を図り参加する事ができる。

第10章 大会の活動と日程

1、日程編成の基本方針

- (1) 県内の参加スカウトが、同一場所で、一同に会し野営生活することで友情の和が広がり、スカウティングの推進につながり、又各指導者が隊の活動プログラムを知り、今後の隊活動及び指導者の資質充実の推進をめざす。
 - ・プログラムは、各隊の自主プログラムで展開
 - ・野営区指導による、各隊の交換会実施
- (2) 全体行事は、開会式・大営火(キャンプファイヤー)・閉会式の3行事として参加者一同に集い開催する。
- (3) プログラムは、各隊企画による隊プログラムで実施する。
- (4) 大会本部(プログラム部)企画による、選択プログラムを提供する。
企画(但し有料を含む)
 - ・毛無山登山 ・会場周辺のサイクリング ・ハングラライダー ・オリエンタリング
 - ・東海自然歩道活用したハイキング ・レンタルバイク体験 ・SGEAY体験
 - ・砂金採り体験 ・カヌー体験 ・マス釣り体験 ・班対抗技能競技
- (5) カブ・ビーバーディーの参加プログラムを提供する。
オープン参加者も参加出来る(但し有料を含む)
各野営区立案による、プログラム提供 テーマ「作って あそぶ・ゆかい」
【例】 ・紙ヒコーキ ・竹とんぼ ・ジャイロコプター ・シャボン玉 ・ツイスト
・弓矢 ・ロープ回し ・気球体験 ・カヌー体験 ・泥んこ玉
- (6) キャンプ地は現状に復し、感謝のみ残して退場することがスカウトキャンプの原則である。このため、環境整備のプログラムを各隊実施する。

2、大会日程

付表一1表参照

第11章 参加章及び大会入場章

大会会場の入場は、記念章及び入場章の着用者に限る。

1、記念章

- ・参加者は、記念章を購入する。
- ・記念章は、ユニフォーム上着の右ポケットに着用する。
- ※記念章は、平成24年4月15日までに県連事務局に、各地区取りまとめて申し込みする。4月16日以降は、取り扱いをしない。

2、入場章

【識別された、IDカード】
オープン参加者、一般見学者、見学スカウトが着用し、有償配布する。

第12章 服装及び携行品

1、服装は、スカウトユニフォームとし、次により着用する。

- (1)開会式・大営火・閉会式は、ユニフォームで参加する。
- (2)プログラム及び隊活動は、各隊で定めるスカウトにふさわしい服装とする。

2、携行品

大会の携行品及びキャンプ用装備は、スカウトキャンプ生活を維持し、かつ楽しい大会活動と訓練が展開できるよう準備する。

- (1)スカウトの炊事用燃料は、まきを使用する。

第13章 大会が準備する設備及び借与品

1、大会本部は、次の区分により、各野営区等にキャンプ地を割り当てる。

- (1)野営区地域
- (2)参加隊のキャンプ地は、1個隊(20名相当)に対して、500m²(約150坪)を基準として割り当てる。

2、各種付帯設備

水道・シャワー場・簡易トイレ・雑排水処理場所・野営区に照明設備等

3、記念品の販売及び、飲料水の販売

第14章 配 給

食料は、各隊で準備するを基本とする、但し大会本部(配給部)で、事前申し込みによる、有料配布を実施する。

- 1、参加隊は、各隊が企画する献立で実施する。
- 2、本部要員は、事前申し込みによる、本部食堂を利用できる。
- 3、野営区要員は、野営区内で食事を取り野営区長の指示に従う

第15章 救護衛生

1、個人衛生

参加者は、各指導者の指導のもとに、保険衛生に充分留意する。
また、会場は、夏場には高気温になるので、その備えが必要である。

2、救護所

医療救護の万全を期するため、次の救護所及び医療施設を設置する。

- (1)本部救護所
- (2)大会本部が委託する会場外の病院

3、救護所の範囲及び医療の受け方

本部救護所では、キャンプ地から通つて治療を必要であると医師が判断した患者を扱う。

傷病患者は、本部救護所で治療を受け、特別の治療を要する者は、当該医師の判断により会場外に委託した病院で治療を受ける。

参加者全員は、「健康調査書」を記入及び、健康保険証のコピーをIDカード内に入れ、携行する。

第16章 安全管理

快適なキャンプ生活を過ごすとともに、大会を心に残る思い出とするためには、事故発生の防止に努めなければならない。

指導者は、キャンプ生活・大会の活動をとおして、安全指導、安全管理について常に万全の配慮をしなければならない。

参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみを取り返しのつかない事故につながる恐れがあることを忘れず、定めたルールを厳守しなければならない。

特に、会場の周囲は山なので、スカウト・指導者は充分注意する。

安全管理に関する詳細については、別に定める「安全管理ハンドブック」に示す。

第17章 輸 送

1、参加者の集散に要する経費は、すべての参加者の負担とする。

2、キャンプ装備備品等の輸送

- (1)個人の携行品は、参加者が各自で携行することを原則とする。
- (2)班・隊の装備備品等の輸送方法は野営管理部の指示に従う
- (3)輸送に関する詳細は、野営管理部により別に定める。

第18章 入場・退場

1、入場

(1)参加者は、8月11日(土)の午前中の間に会場に到着し、午後開催する開会式までに設営を完了する。

※準備のため8月10日午後1時より入場できる。

(2)到着手続きは、各野営区で行う。

2、退場

- (1) 8月14日(火)午前9時から、各野営区は、一斉に環境整備を実施する。その細部は、大会本部の野営管理部が各野営区に指示する。
- (2) 参加者は、8月14日(火)午後1時までに会場を出発する。
- (3) 退場の手続きは、各野営区の指示に従う。

3、野営区要員の入場・退場

入場について、
入場について、8月10日の参加者午後1時入場が出来るよう入場する。
退場について、野営区内の全キャンプサイトの点検完了及び野営区内の環境整備実施完了を確認し、大会本部野営管理部長に報告完了した後退場する。

4、本部要員の入場・退場

入場について、8月10日の参加者午後1時入場が出来るよう入場する。
退場について、全野営区より、参加者の退場報告を野営管理部長は受けその旨を、野営本部長に報告して、野営本部長の指示により退場する。

第19章 参加者の来訪

- 1、参観者(見学スカウト・一般見学者)は、毎日午前9時から入場を開始し午後9時までに退場する。
- 2、見学スカウト・一般見学者は、必ず記念章もしくは、入場章を付けて入場する。
- 3、見学スカウトの輸送は、宿泊、食事等は、各隊・各団の責任において実施する。

第20章 規制事項

- 1、会期中の、会場内における個人の車両の運行は認めない。
- 2、野営区、大会本部、警察、消防、報道、郵便、関係業者等がその要務のために運行業務車両は、別に定める。
- 3、その他必要事項は、大会本部(野営管理部)の指示に従う

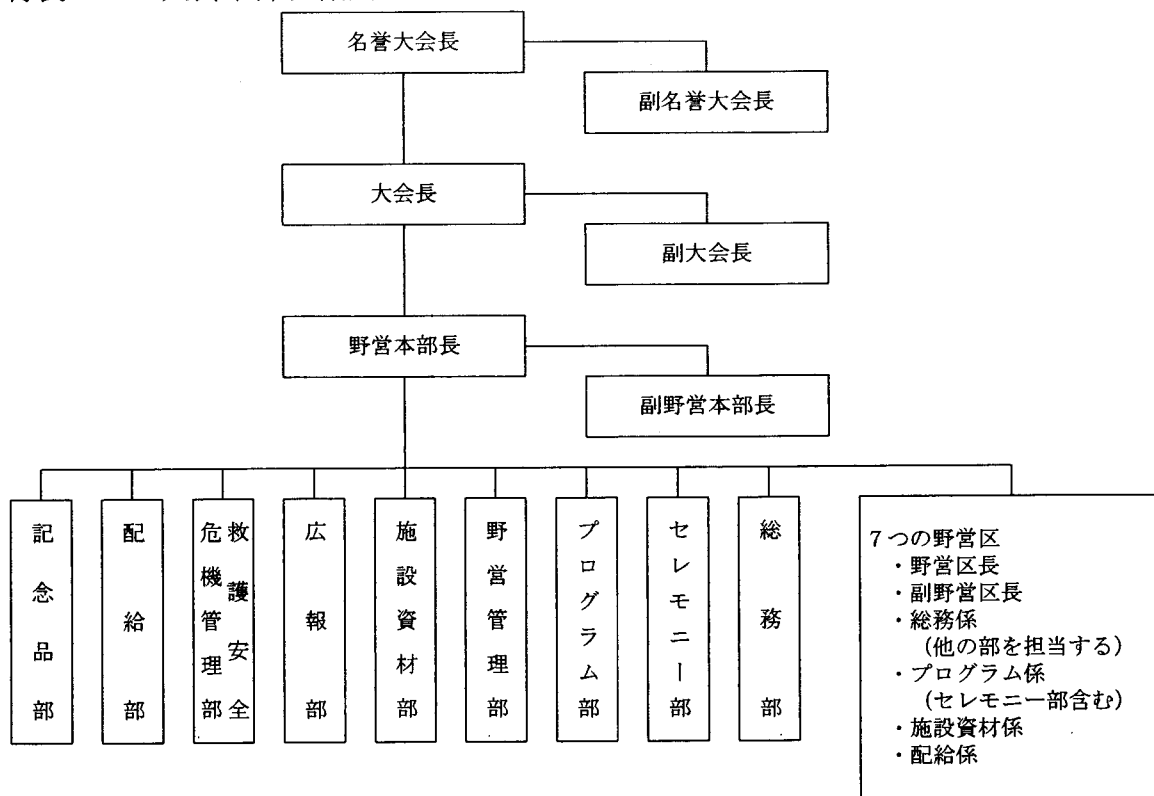
付表—1 大会 標準日程表

時間	基本日課	前日	第1日	第2日	第3日	第4日
		8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日
		(金)	(土)	(日)	(月)	(火)
6:00	起床					
7:00	朝食・点検・朝礼					
8:30	国旗掲揚					
9:00	午前の活動	大会本部 会場設営	設営	プログラム	プログラム	環境整備 徹営
11:30						
12:00	昼食					
13:30	午後の活動	(開場)	開会式	プログラム	プログラム	(閉場)
16:30		13:00				
18:00	夕食					
18:30	国旗降納					
19:00	友情の交歓		プログラム	隊交歓	大営火	
21:00					閉会式	
21:30	班長会議					
22:00	消灯					

【補足説明】

- 1) 8月12日(日)は、「カブ・ビーバーデー」として、ビーバースカウト及びカブスカウト・オープン参加者のためのプログラムを実施する。

付表－２ 大会本部組織図



1. 大会本部 各部の所掌業務の概要

- 総務部 大会本部の管理運営に関すること
- セレモニー部 全体行事に関すること（開会式・大営火・閉会式）
- プログラム部 プログラムに関すること
- 野営管理部 参加者に関する全般的なこと及び見学者の受付け案内等
- 施設資材部 各種施設・維持・管理に関すること
- 広報部 報道関係に関すること及び記録
- 救護安全危機管理部 医療サービスに関すること及び緊急時の管理
- 配給部 配給に関すること及び本部給食
- 記念品部 記念品の販売及び飲料水の販売

2. 野営区

- 正副野営区長 野営区を代表するとともにこれを統括管理し、大会本部野営本部長に対し責任を負う。
- 野営区担当 大会本部と連携して参加者の生活やプログラム支援などに関すること
 - ・総務係 大会本部の総務・野営管理・広報・救護安全危機管理の業務に関すること
 - ・プログラム係 全体行事とプログラムに関すること
カブ・ビーバーディーのプログラム1つ実施する。
 - ・施設資材係 各施設の維持管理に関すること
 - ・配給係 配給に関すること

付表－3 野営区組織図

